

GRASS ROOTSに 名を刻め！

— RESPECTから始める冒険 —

その94 (R05.12.18)

～ 人権朝礼 人権主任のお話～

「人権」って難しい言葉ですね。「人にはそれぞれ、その人らしく幸せに生きる権利がある」ということなのですが、その内容にはいろいろあります。「世界人権デー」に合わせて、みんなでしっかりと考えてみようということで、芝根小学校でも今週から人権についての集中学習を始めます。

まずは、校長先生と保健室の先生のお話を聞きましょう。

(2人のお話は学校だよりに掲載済なので、省略します。)

校長先生が「お友達への声のかけ方」について分かりやすく話してくださいましたね。また、保健室の先生は「エイズ」という病気のために差別された人がいて、その差別をなくすために「レッドリボン」を付ける運動があるということなど、世界中での取り組みがあることも教えてくださいました。

「誰もが幸せに生きる権利がある」なんて、あたりまえのことだよ・・・と思うかも知れませんが、毎日テレビや新聞などで届くニュースに目を向けると、どこかの国で戦争をしていてミサイルを撃ち込まれたとか、何百人もの人が命を落としたとか、日本でも毎日のようにどこかで事件や事故が起こっていて今日も犠牲になった人がいるとか・・・。実際には、大人の世界でも人権が守られているわけではないのです。人の心に大きく関わることだから、その時になったら考えればいいのか、大人になったら考えればいいのかではなく、子どものうちからしっかりと考えてほしいと思うのです。

そのために、芝根小学校では一年に一度、あらためてみんなで一緒にDVDを見て考えたり、本を読んで考えたりしたいと思います。

毎日の事ですので「友達とのかかわり」について考えることも大切ですし、時には「自分自身について」考えることも大切です。5年生は「命を育む講座」で、自分という命が生まれてくるのは奇跡的なことだということを学習したのではないのでしょうか。6年生は視野を広げて、世界のこと(外国とのこと)についても考えていきます。

図書室では、図書の先生が人権の学習に関係する本を「おすすめコーナー」に置いてくださっています。ぜひ、進んで読んでみてください。みんなでしっかりと考え、学習していきましょう。